



学校教育目標

自ら考え行動し しなやかな心でなかまと共に力を高め合う子の育成

令和5年度前期学校評価結果をお知らせします

保護者の皆様のご協力を得て、前期学校評価アンケートを実施いたしました。昨年度から、「Microsoft Forms」によるアンケートで集計させていただいたのですが、保護者の皆様には、お忙しい中ご理解・ご協力いただきまして、本当にありがとうございました。なお、評価項目は、「確かな学力(学習面)」「豊かな心」「健やかな体(健康・運動・安全面)」「その他(教育相談・家庭での様子・学校や家庭の様子)」の4観点に基づき、各項目は「実現度(よくできている・大体できている・あまりできていない・できていない・わからない)」の5段階でお答えいただきました。

集計結果から、実現度の状況を分析し、成果や課題をご報告いたします。



<回答数について>

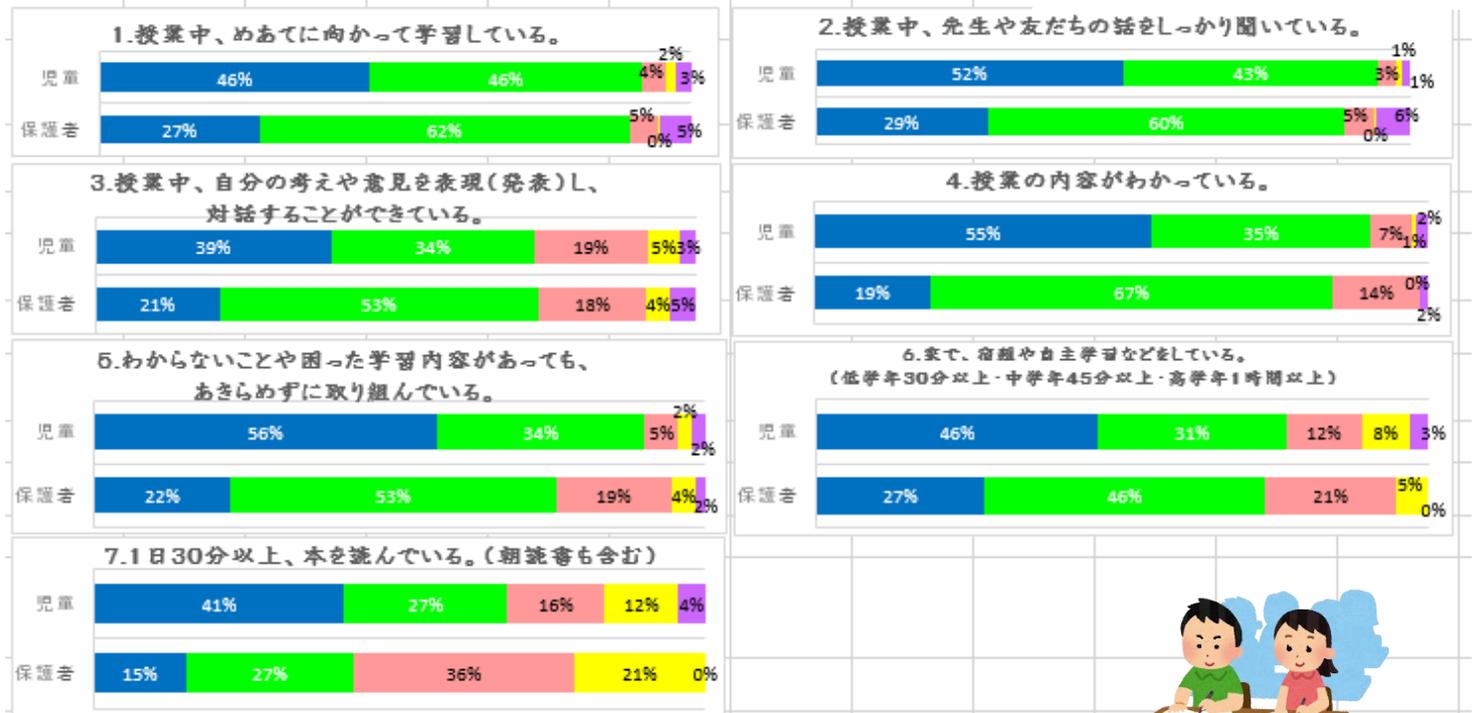
- ・266名の方から回答をいただきました。実施期間の児童数が317名(家庭数245)でしたので、**84%**の方のご意見をいただいたこととなります。

確かな学力(学習面)



よくできている・大体できている ⇒ プラス評価
あまりできていない・できていない ⇒ マイナス評価

※上記のように捉えて考察・分析しています。
※小数点以下を四捨五入している数値です。そのため集計上、すべてを合算しても100パーセントにならない場合があります。



育成したい資質・能力 「対話する力」「課題を解決する力」

次ページに続きます→

設問2「授業中、先生や友だちの話をしっかり聞いている。」は、児童のプラス評価が95%、保護者のプラス評価が89%で、「確かな学力」の評価項目の中で児童、保護者共に一番プラス評価が高い結果となりました。

今年度より学校教育目標を「自ら考え行動し しなやかな心でなかまと共に力を高め合う子の育成」、本校で<育成したい資質・能力>を以下の2点とし、日ごろの授業で大切にしております。

- ・各教科等の「見方・考え方」を働かせ、深い学びに向けて、他者と自分のおもいや考えを表現し、対話する力
- ・他者と協働しながら、根拠をもって筋道立てて考え、課題を解決する力

それに関わる設問③「授業中、自分の考えや意見を表現（発表）し、対話することができる。」の結果を見ると児童のプラス評価は73%、保護者のプラス評価は74%でした。今年度、育成したい資質能力を育てるために各教室で1学期は、まず聞く姿勢を大切にしてきました。その結果、話を聞く姿勢が身につけてきた児童が増えてきており、日ごろの授業の成果の一端が見られたと考えられます。ただし自分の意見や考えを表現（発表）し、対話することについては、話を聞くよりもプラス評価が低い結果となりました。

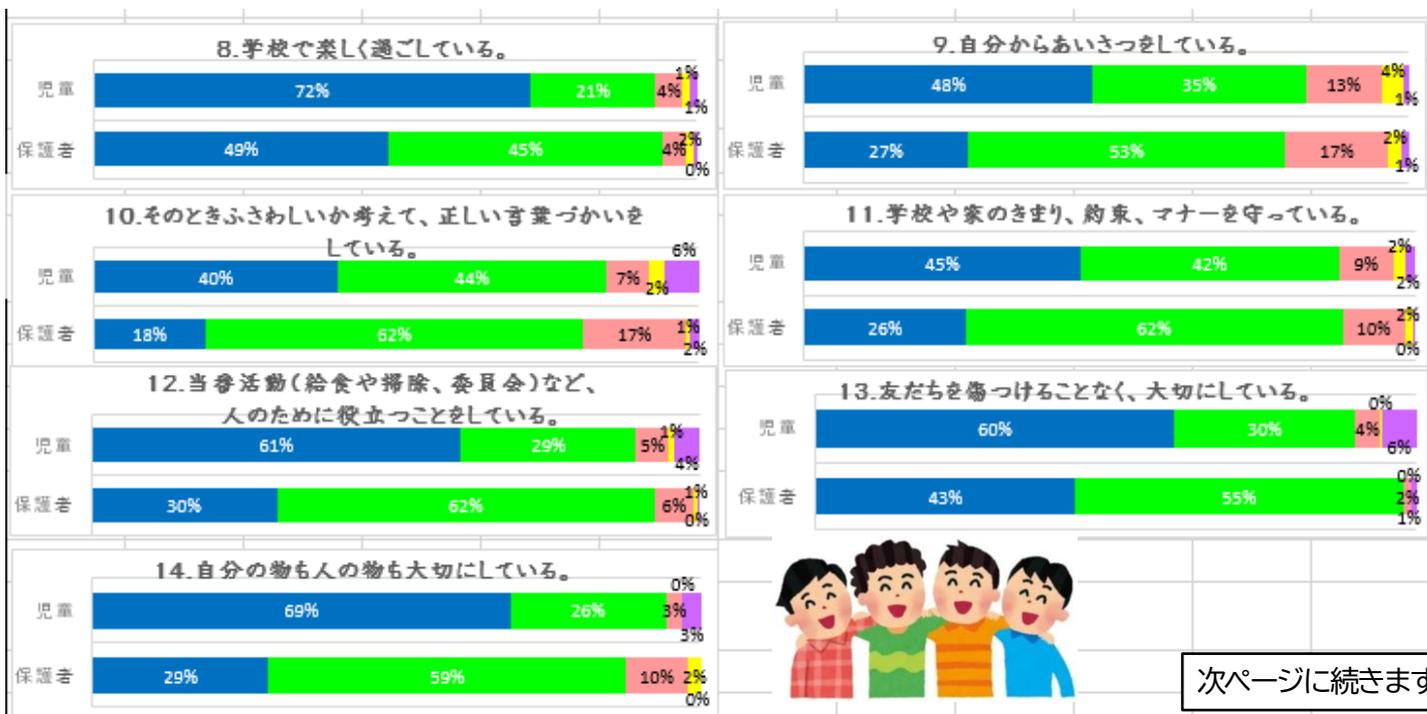
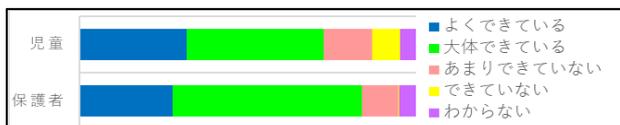
設問1「授業中、めあてに向かって学習している。」は、児童の評価が92%、保護者の評価が89%という高い結果が得られました。

今後も授業の中で「対話」の場面や「課題解決」の場面がある授業を実践し、「対話する力」「課題を解決する力」を充実させていきたいと考えております。

設問7「1日30分以上、本を読んでいる。（朝読書も含みます。）」の項目は児童のプラス評価が68%、保護者のプラス評価が42%という結果となり、児童と保護者のプラス評価の結果に差が見られました。

学校では毎朝8：30～8：40を読書タイムとして、全校一斉に読書活動をしています。授業の中では、学校図書館を活用した授業を行ったり、各教科や総合的な学習の時間の内容に合わせて学校図書館から関連図書を選んで、授業で活用したりしています。小さい頃から読書の習慣がついていると語彙が豊富になり、言葉による表現が多彩になり、自分の思いを的確に伝えられるようになります。ご家庭でも本に親しめるような働きかけをしていただくとありがたいです。

豊かな心



次ページに続きます→

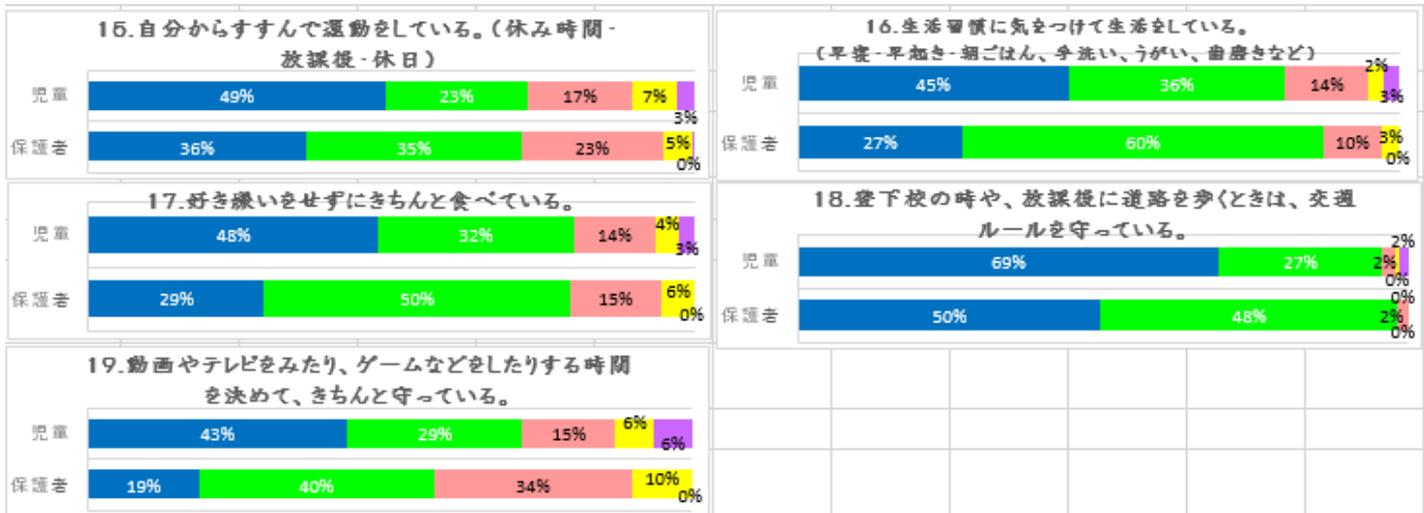
毎日の学校生活の中で・・・楽しい学校生活 気持ちのよいあいさつ

設問8「学校で楽しく過ごしている。」、設問12「当番活動（給食や掃除、委員会）など、人のために役立つことをしている。」、設問13「友だちを傷つけることなく、大切にしている。」は、児童、保護者共にプラス評価が90%以上でした。設問8「学校で楽しく過ごしている。」は、児童のプラス評価が93%、保護者のプラス評価が94%と高い評価につきましては、学校としてもうれしく感じています。

また、設問13「友達を傷つけることなく、大切にしている」の保護者のプラス評価が98%で、設問18「登下校の時や、放課後に道路を歩くときには交通ルールを守っている」と同じく全項目の中で保護者のプラス評価が一番高い項目でした。今後も、自分勝手に過ごすのではなく、みんなのことを考えて行動したり、友だちに優しく接したりすることを大切にし、取り組んでいきます。

設問9「自分からあいさつしている。」は、児童のプラス評価が83%、保護者のプラス評価が80%で、豊かな心の項目の中において低い割合が見られました。長期休み明け（教職員とPTA）のあいさつ運動や児童会のあいさつ運動、日常の登校指導において、通学路や校門で自らあいさつしている児童が見られる一方、自分からはあいさつできない、あいさつの声が小さい、あいさつされてもあいさつしにくい児童の姿が見られます。今年度「朱三の子ども（学校の決まり）」で気持ちの良いあいさつに重点を置いて取り組んでいますが、今後もいろいろな場面で気持ちの良い挨拶ができる児童の姿を広げていきたいと考えています。

健やかな体（健康・運動・安全面）



児童の体力向上・運動能力向上を目指して

設問15「自分から進んで運動をしている」の児童のプラス評価は72%、保護者のプラス評価は71%でした。昨年度後期の評価と比較すると、児童は9%、保護者は5%の減少が見られました。

全国的な課題である、「児童の体力・運動能力の低下」、昨年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果から全国的に以下のようなことが分かりました。

- 1 週間の運動時間 420 分以上の児童の割合は、いまだ低い状況にある。
- 1 週間の総運動時間が 60 分未満で
 体育の授業以外には全く運動やスポーツをしていない (0 分) 児童の割合は、男子が 48.9%、女子が 39.6%

この結果から、体力向上に向けて、学校の体育の授業以外にはほとんど運動をしていない児童に、少しでも運動やスポーツをする時間を増やせるよう、どのように働きかけていくことができるかが大切で、そういった児童の時間を増やすためには、運動をほとんどしない児童を対象とするよりも、学校の児童全体を対象としたプログラムと一緒に参加し、他の児童と運動する機会をつくり、運動時間を増やすことが効果的であると考えられています。

そこで、本校では今年度より研究教科を体育科とし、よりよい授業の実践に向けて研究を進め、さらに京都市教育委員会から「ジャンプアップ研究推進事業」研究推進校の指定（2年間）を受け、休み時間や放課後の時間などを活用した児童の体力向上・運動能力向上に向けた取組を行っています。まだまだ取組が始まったばかりで、数値としては課題が残る結果となっておりますが、今後も児童の体力向上、運動能力向上に努めていきます。

次ページに続きます→

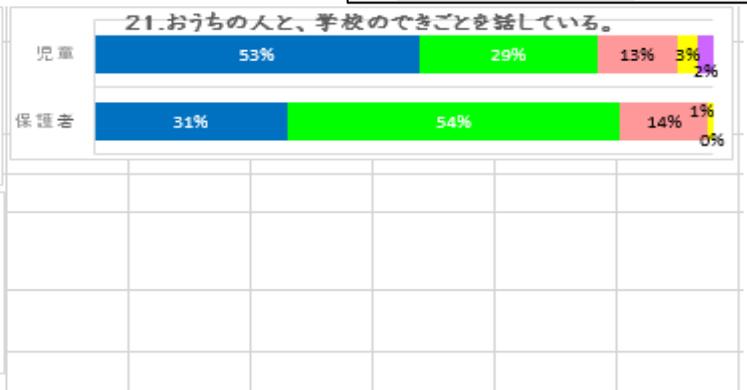
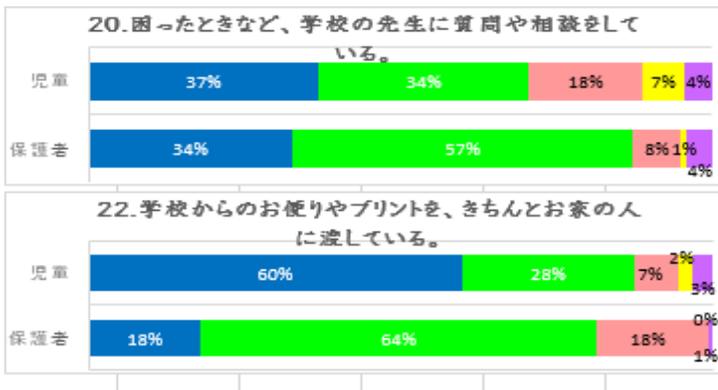
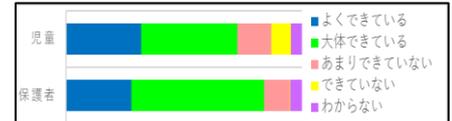
また、同じく「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の生活習慣と体力に関わる結果を見ると全国的に以下のような傾向が見られ、体力向上には生活習慣が大きく関わっているようです。

- ・朝食を「毎日食べる」グループが最も体力合計点が高い
- ・睡眠時間において、女子では「8 時間以上9 時間未満」グループが最も体力合計点が高い
- ・男子では「8 時間以上9 時間未満」、「9 時間以上10 時間未満」が最も高い
- ・学習以外でテレビ、DVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等による映像の視聴時間男女とも視聴時間が3時間未満のグループの体力合計点は高い

設問18「登下校の時や、放課後に道路を歩くときは、交通ルールを守っている。」は、児童のプラス評価が96%、保護者のプラス評価が98%という高い結果で全項目の中で児童・保護者共に一番プラス評価の高い項目でした。交通ルールを守ろうという意識が高いことが分かります。一方で約4%の児童は「あまりできていない、できていない」と答えています。児童の登校の様子を見ていると道路を横一列になって歩道からはみ出して歩いたり、信号が変わるときに、急いで渡ろうと走ってきたりして危ない場面を目にすることがあり、学校で安全指導を行っています。引き続き、毎月15日に行っている「安全の日」を中心に、安全指導を継続していきます。

また保護者の皆様には、中新道と東新道の学校前の横断歩道での朝の見守り活動にご協力いただきありがとうございます。本校では、保護者の皆様だけでなく、見守り隊や交通安全協議会、京都市行財政局サービス事業推進室の皆様方にも登下校時に見守り活動をしていただいております。交通量が多い松原通を通る児童が毎朝安全に登校できるよう、引き続き朝の見守り活動にご協力をお願いします。

その他（教育相談・家庭での様子・学校や家庭の様子）



困ったときに相談できるように・・・

設問20「困ったときなど、学校の先生に質問や相談をしている。」の児童のプラス評価は71%でした。一方、同じ項目で「困ったときなど、教職員に質問や相談しやすい。」の保護者のプラス評価は、91%という結果で児童と保護者の結果で差が見られました。学校では、日ごろから児童の様子を見守ったり、学期の途中には、児童にアンケートを実施したり「教育相談」として、一人一人の児童と「個別相談会」を行ったりしています。また学校には教職員だけでなくスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーもおられます。今後も、児童や保護者の思いに寄り添い、学校としてどのように取り組むかを話し合い、関係機関とも連携を図りながら日々の教育活動を推進していきます。

保護者の皆様も、何かご相談されたいことがありましたら、今後ご連絡をよろしく願います。

自由記述のご意見

今回の学校評価アンケートでいただいた全てのご意見は、教職員で共有し、今後に生かしていけるようにします。今後も何かご不明点がありましたら、いつでも学校までご連絡ください。

- ・児童の学校生活について…

→今後も児童が楽しく学校生活を過ごすことができるよう保護者の皆様と連携を図りながら全教職員で取り組んでいきたいと思ひます。

- ・学校評価アンケートの形式について…

→昨年度より、記名をお願いしてご意見を伺っています。記名していただくことで、詳しくお聞かせいただきたいご意見については、直接お話しが伺えらると思ひます。今後も忌憚のないご意見をお願いいたします。